

阿波市議会だより

第76号

年4回発行 [令和7年9月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田 201 番地 1
TEL. 0883-36-8750 FAX. 0883-36-8764
ホームページアドレス <https://www.city.awa.tg.jp/gikai/>



代表質問

原田 定信 議員
(志政クラブ)



問 本市のデマンドバス運行に関して土・日の運行は出来ないのか、吉野川医療センターへ通院する市民からは土曜日の運行を強く望んでいる。交通弱者を少しでも減らす為にも必要でないか、国の方針としても緩和されており実現はさほど難しくないので。

答 免許証の返納や医療センターを中心とする需要の多寡などをふまえてスピード感を持ちながら十分に検討し関連する課題も取り払って市の方向性を出していきたい。

問 新ごみ処理施設について「地権者との交渉終了、月内に予算案提出方針」と報告されたが20年の賃貸契約というのはいまにも短いのではないかと、又今後の地元との交渉は、チーム阿波として市長をトップに議会も職員も一丸となって取り組むべきでないか。

答 全国的にもごみ処理施設の

事業につきましては不転換の決意と覚悟を持って望まないと出来ない。令和10年4月1日稼働を目指して強い気持ちを持ってやっていきたい。

阿部 雅志 議員
(阿波みらい)



問 合併後20年が経過した現在、合併当時と比較して、農家数や農業従事者数、遊休農地の面積は、どうなっているのか。

答 本市の農家数や農業従事者数は年々減少を続け、遊休農地は増加傾向にある。農林業センサスによると、農家数は平成17年から令和2年の間に32%減少、農業従事者数は、平成17年から令和2年の間に37%減少。遊休農地については、平成19年から令和6年の間に3%程度の微増

問 今後、市として、農業政策をどのように進めていくのか。

答 阿波市農業振興計画の改定を行い、最先端技術の導入やスマート技術の実装など、次代の農業を見据えた取組支援や農地の集積、集約を図る圃場整備事業の実施や地域計画に基づく農地賃借の促進を図る。



令和7年第2回 阿波市議会定例会の概要

第2回定例会は、6月2日から6月25日までの24日間の会期で開かれました。

開会日には表彰状の伝達があり、全国市議会議長会から三浦三三議員と榎原伸議員、四国市議会議長会から原田定信議員と阿部雅志議員が表彰されました。また、全国市議会議長会から笠井安之議長に感謝状が贈呈されました。

続いて町田市長から、4月26日開催の阿波市市制20周年記念式典や2025年日本国際博覧会大阪・関西万博でのPR活動阿波市場スマートインターチェンジの名称決定、自主防災組織連合会防災訓練等についての行政報告と、地方行政財政基盤の充実強化について等、国等への要望活動について報告がありました。

また、令和7年度阿波市一般会計、及び特別会計の補正予算案の一部改正などの議案について概要と提案理由の説明がありました。

坂東 重夫 議員
(はばたき)



問 本年度は、市制20周年を迎える節目の年であるが、これから(第2ステージ)の行政運営に対する考えは。

答 新たな行政運営の基本方針を定めた「阿波市行政改革推進プラン2025」に積極的に取り組む「自主財源の確保」、人件費の抑制や施設の統廃合など歳出を抑制するとともに、複雑化する行政課題に対応できる人材の育成を進める。10年後、20年後先の将来を見据え、健全で持続可能な「行政運営」に努めていく。

問 阿波市が保有する公有財産の「有効活用」及び「運営」について。

答 これまでの「公共施設等総合管理計画」と「公共施設個別管理計画」を一体化した実効性のある計画を踏まえ、「財政コスト」の削減や「財源確保」を念頭に適切な「財産管理」や「未利用財産」の有効活用を努めていく。

問 子ども・子育て支援の将来像について。

答 未来をつくる子どもたちは「宝」であり、かけがえのない存在であると捉えており、今後

一般質問

竹内 政幸 議員
(志政クラブ)



問 市内小・中学校における不審者対策は。

答 防犯カメラの設置、複数の職員によるモニタリング、安全・防犯教室の実施等を行っている。加えて青少年育成センターによるパトロールやスクールガード等による通学路の巡回見守り活動等を行っている。

問 児童・生徒の野外活動中における、急激な天候不良対策は。

答 雷鳴が聞こえる等の際は、ためらうことなく活動の中止等適切な措置を講じている。オリエンテーリング等の際は事前に下見・打合せを行うとともに、天気が急変したときは引率者の判断のもと安全な場所に避難するようにしている。

問 農業経営者に対し農業機械

代表・一般質問は6月12日、13日、16日の3日間にわたり行われ、15人が市政全般について理事者の考えを問う、地方創生・環境・農業振興・財政・子育て支援・教育関係等について議論しました。

18日に総務、19日に文教厚生、20日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長提出議案をいずれも可決・承認しました。追加議案として、予算案件1件、人事案件4件、その他案件1件が提出され、いずれも可決・同意となりました。

令和7年第1回 阿波市議会臨時会の概要

第1回臨時会は、7月22日に1日の会期で開かれ、令和7年度阿波市一般会計補正予算の市長提出議案1件の概要と提案理由の説明があり、可決されました。

安全使用対策は。

問 県農業大学校やJA等が開催している研修等へ参加を推進するとともに広報活動を行っている。関係機関と連携を図り安全使用対策に取り組んでいく。

問 農業機械運搬の大型特殊免許(農耕車)の取得について。

答 免許取得の有用性や効果等を情報発信し、必要とされている方に取得して頂けるよう取り組む。

問 市内土地改良区・水利組合に対し灌漑ポンプ電気料金支援を実施しては。

答 国は対策を実施するとしていますが、市は独自の支援策は予定していない。今後社会情勢の変化や国からの交付金等の状況を見極めながら、必要に応じた支援策を迅速に展開する。

問 市内小・中学校における不審者対策は。

答 防犯カメラの設置、複数の職員によるモニタリング、安全・防犯教室の実施等を行っている。加えて青少年育成センターによるパトロールやスクールガード等による通学路の巡回見守り活動等を行っている。

問 児童・生徒の野外活動中における、急激な天候不良対策は。

答 雷鳴が聞こえる等の際は、ためらうことなく活動の中止等適切な措置を講じている。オリエンテーリング等の際は事前に下見・打合せを行うとともに、天気が急変したときは引率者の判断のもと安全な場所に避難するようにしている。

問 令和7年4月末現在で40人毎年2月、5月、8月、11月に支給され、月額2万9,590円となっている。

問 PFASの検査結果で水源地によって、米国の規制値よりも高い数値が出ている所もあるが、発生源の特定ができるのか。

答 令和3年度からの継続検査で、PFOS及びPFOAの濃度がいずれも国の「暫定目標値」を下回っているため、現時点で発生源特定のための調査を実施する予定はない。

問 教員の多忙化を解消する方策は。

答 昨年度、県教育委員会から示された「とくしまの学校における働き方改革プラン・第3期」に基づき、「タイムマネジメントの徹底」、「業務改善のさらなる推進」、「外部人材の積極的活用」、「部活動の適正化」の4つの視点から教員の「働きやすさ」「働きがい」を実感できる環境づくりに取り組んでいる。

問 新ごみ処理施設における今後の動きについて。

答 早急に予算措置を行った上で、賃貸借契約を締結し、工事着工に必要な手続きを進めていく。また、地元自治会協議会を立ち上げ、環境保全協定書の締結に向けての協議並びに、新ごみ処理場建設にかかる遵守事項について話し合いをすすめている。

スクールバスの利用状況及び今後の活用について。

答 通学に年間211日、行事に74日利用している。今後は、活用状況を丁寧に把握し他の自治体の先行事例等も参考に協議していく。

問 防災士の取得状況及び本市において地域防災リーダー養成講座の開催計画は。

答 取得者数は103名。また講座については、次年度以降、中西部地域での開催を県へ要望していく。

問 コンポストの追加無償配布の検討。

答 不足分については、できるだけ早い段階で予算計上させていただきたい。

問 雑紙の回収に向けての取組は。

答 周知に必要な「チラシの作成」や、「回収場所の確保」について検討中である。

問 新ごみ処理施設の土地賃貸借契約の内容と進捗状況は。

答 賃貸借契約は4月で交渉を終え、予算について全員協議会、組合議会と日程を調整していく。

問 スクールバスの利用状況及び今後の活用について。

答 通学に年間211日、行事に74日利用している。今後は、活用状況を丁寧に把握し他の自治体の先行事例等も参考に協議していく。

問 防災士の取得状況及び本市において地域防災リーダー養成講座の開催計画は。

答 取得者数は103名。また講座については、次年度以降、中西部地域での開催を県へ要望していく。

問 コンポストの追加無償配布の検討。

答 不足分については、できるだけ早い段階で予算計上させていただきたい。

問 雑紙の回収に向けての取組は。

答 周知に必要な「チラシの作成」や、「回収場所の確保」について検討中である。

問 新ごみ処理施設の土地賃貸借契約の内容と進捗状況は。

答 賃貸借契約は4月で交渉を終え、予算について全員協議会、組合議会と日程を調整していく。

問 令和7年4月末現在で40人毎年2月、5月、8月、11月に支給され、月額2万9,590円となっている。

問 PFASの検査結果で水源地によって、米国の規制値よりも高い数値が出ている所もあるが、発生源の特定ができるのか。

答 令和3年度からの継続検査で、PFOS及びPFOAの濃度がいずれも国の「暫定目標値」を下回っているため、現時点で発生源特定のための調査を実施する予定はない。

問 教員の多忙化を解消する方策は。

答 昨年度、県教育委員会から示された「とくしまの学校における働き方改革プラン・第3期」に基づき、「タイムマネジメントの徹底」、「業務改善のさらなる推進」、「外部人材の積極的活用」、「部活動の適正化」の4つの視点から教員の「働きやすさ」「働きがい」を実感できる環境づくりに取り組んでいる。

問 新ごみ処理施設における今後の動きについて。

答 早急に予算措置を行った上で、賃貸借契約を締結し、工事着工に必要な手続きを進めていく。また、地元自治会協議会を立ち上げ、環境保全協定書の締結に向けての協議並びに、新ごみ処理場建設にかかる遵守事項について話し合いをすすめている。

問 令和の米不足と言われているが本市の米の作付状況や今後の米政策をどのように考えているのか。

答 令和の米不足と言われているが本市の米の作付状況や今後の米政策をどのように考えているのか。

問 令和の米不足と言われているが本市の米の作付状況や今後の米政策をどのように考えているのか。

答 令和の米不足と言われているが本市の米の作付状況や今後の米政策をどのように考えているのか。

吉田 稔 議員
(阿波みらい)



問 豪雨や風水害を心配する季節となってきた。防災や減災について各担当部局はどのように準備されているのか。

答 市内を流れる河川については県が管理する一級河川が48本、市が管理する準用河川が57本ある。それぞれ計画的に樹木伐採と堆積土砂撤去等を実施している。「防災重点農業用ため池」は63か所あり地域の土地改良区等と連携を図り、保全管理に努めている。浸水被害を防止する排水機場は9か所あり2か所で改修工事が進められている。土砂災害警戒区域については県や関係機関と共に合同巡視を予定している。

問 令和の米不足と言われているが本市の米の作付状況や今後の米政策をどのように考えているのか。

答 令和の米不足と言われているが本市の米の作付状況や今後の米政策をどのように考えているのか。

問 令和の米不足と言われているが本市の米の作付状況や今後の米政策をどのように考えているのか。

答 令和の米不足と言われているが本市の米の作付状況や今後の米政策をどのように考えているのか。



中野 厚志 議員
(日本共産党)

問 行政のデジタル化の現状と今後の方向性について。

答 デジタル化によって、市民の行政サービスの利便性の向上と業務の効率化が進んでいる。若手中心のプロジェクトチームによるDXの推進力強化、ホームページの刷新で、市民ニーズに合った情報発信をしていく。さらに、高齢者などITに不慣れた人への情報格差の改善を



問 本市で特別障害者手当を受給されている人の数は。

答 本市で特別障害者手当を受給されている人の数は。



後藤 修 議員
(はばたき)

問 鳴門交通圏で始まったライドシェアとは、どのようなものか。また、阿波町・市場町におけるライドシェアの導入予定は。

答 基本的な運行内容や運賃は、タクシー事業に準ずるもの。また、阿波町・市場町におけるライドシェアの導入予定については、現在、許可を受けている事業者はいない。

問 農業経営者に対し農業機械

答 農業経営者に対し農業機械

松村 幸治 議員
(志政クラブ)

問 市内の耕作面積約3,500haの内、令和7年度の主食用米の作付面積は約1,790ha。昨年度の実績より約3・6%の増加と予測している。稲作農家が経営を維持して行ける再生産が可能な価格が重要であると考えている。国の動向を注視しながら地域農業の持続可能な発展を目指した政策を推進したい。



問 市役所本庁の駐車場について、災害発生時に「命を守る」ための事前対策としての、駐車場の拡張と活用について。

答 災害に強いまちづくりを実現するために考慮する。

問 子供食堂への補助について阿波町、市場町、土成町、吉野町で毎週日曜日に開催してはどうか。

答 阿波市全体ですべての子どもたちが安全で、安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいく。

問 元気なまちづくりについて、小学校の給食無償化を含む教育施策の充実について。

答 阿波市内の中学校の給食費の無償化が実施され好評を博している。このたび国の「3党合意」により小学校の給食費の無償化も進んでいる。

武澤 豪 議員
(志政クラブ)



問 昨年の出生数が約68万人と少子化が加速しているが、阿波市の行っている少子化対策とどのような結果が出ているのか。

答 ソフトとハードの両面から子育て支援策の推進を行っている。出生数は、令和5年度は

117人、令和6年度は112人と厳しい状況である。

問 少子化対策を今後どのように進めていくのか。

答 市内在住の中学生を対象に学校給食の無償化、小学校入学にあたり通学用かばんの無償配布などを実施している。

問 夜間診療の担当医について阿波市及び阿波市周辺の夜間診療に小児科医が少ないと言われているが、対応できないか。

答 第8次徳島県保健医療計画の中で小児科医師の養成・確保、地域の小児科医療体制の確保などが掲げられており、本市は相談支援事業等の普及啓発を行っている。

問 外国人の土地取得について阿波市内外でも農地をはじめ、家屋等を外国人が取得を進めているが、市の考えは。

答 県及び農業会議などと連携し慎重かつ厳正に対応する。

問 産前産後ケアについて。こども家庭センターが中核となり、産後も安心して子育てができる環境を整えている。今後も子育て家庭や関係者からの意見を聞きながら支援内容の充実を図る。

問 地域学校協働活動について。本市は地域学校協働活動推進員やボランティア団体等の協力のもと、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えることができる体制作りを行っている。ラーケーションについて。

答 本市でも、導入について検討している。

問 給食の残食量と処理の仕方について。

答 残食量は、小中学校で約23トン、調理過程で発生する野菜くず等の残物の詳細は把握できていないが、どちらも市内業者にて処理している。

問 堆肥など有機肥料の地産地消を推進し、農畜連携を支援すべきではないか。

答 現在の助成金なども有効活用しながら、畜産農家と耕種農家の連携により、有機肥料の地産地消を進めていく。

問 畜産への臭気対策支援について。

答 現在は指導が中心の対策となっており、畜産農家と地域住民の共生が図られるよう取り組んでいく。

問 ごみ処理施設について。2025年8月からのごみ処理での臭気対策として消臭剤噴霧を予定しているが、方法と費用、また効果は。

答 既存のエアカーテンに加え消臭剤を設置し、常時消臭剤を噴霧する。臭気対策を含む積替保管施設工事費は2億4,855

榎原 浩二 議員
(阿波みらい)



問 市民参加の少ない阿波シティマラソンを多額の費用を掛けて行う必要があるのか。

答 阿波シティマラソンは全体で人件費も含めて1,800万円ほど掛かっている。ハーフマラソンに関しては455名参加の内、阿波市から22名の参加があり市民の体力づくり健康増進に寄与している。

問 ハーフマラソンのランナー1人走るのに4万円ほど経費が掛かっている。この予算があれば各家庭にごみ袋が4セット配布できる。

答 ゲストラナー・招待選手に払っている謝金130万円の根拠と見直しは。

答 所属先からの見積もり提出なく所属先との協議のうえで支払っている。

問 安全安心なまちづくりについて国の国土強靱化との関連と今後の具体的対策について。

答 脆弱性の再評価を実施し計画の見直しを踏まえた上で第2

黒川 理佳 議員
(無所属)



次阿波市国土強靱化地域計画を策定している。危機管理局を中心に再度検証し防災に強い阿波市を目指す。

問 5万6,000円となっている。ごみ処理に関する情報の共有について。

答 20年に一度の大きな事業で地域住民や議会、中央広域の住民の皆様へ配慮しながら情報共有していく。

問 阿波病院縮小による影響について。

答 回復期患者の受入先減少、人工透析患者の需要に配慮することが難しくなるほか、在宅医療の脆弱化などが懸念される。

問 ジェネリック医薬品の利用率と利用促進への取組について。

答 数量別での利用率は76・3%で県内22位。国保だよりに普及促進のパンフレット同封、保健師、管理栄養士が調剤薬局などを訪問し、ジェネリック医薬品の積極的な利用を推進、国保加入時や保険証更新時にジェネリック希望シールによる啓発に力を入れている。削減効果が高い方への差額通知制度も継続して行っている。

問 学校給食における食材調達方法と給食の内容について。

答 高騰しているお米については一年分を同一価格で提供してもらえ。地産地消を推進し、健全な成長と健康第一の学校給食に努めていく。

榎原 伸 議員
(志政クラブ)



問 町の大切な入口であり、市場、八幡、土成西部に近い川島橋、川島橋の取り合い道路や橋の2車線化等改修を要する。又市場の阿波交番東から南へ千田橋、善入寺島、川島橋、国道

問 さぬき市津田と川島町を結ぶルートのうち川島橋の幅は治水に難しい。橋から堤防に上る箇所については事業を調査研究し、県と協議してまいりたい。市道の延伸は財政基盤確立のため新規事業化は難しい。

問 市関連の観光パンフレット冊子に市場町案内部分の頁数が極少なく残念だ。善入寺島のひまわりコスモスは有名になったが何かもう一品ほしい。島内には道路標識電柱もある。日本一の表示板や案内板の設置を、日本最大級の川中島、農業、遍路道等宝の島である。河川法などにより設置は難しい。阿波市場スマートICの供用開始も目前であり、効果的な観光施策にしっかりと取り組んでいく。

問 ふるさと教育は中学生にも狭く地元を詳しく行っているのか。

答 中学では2年生を対象に職業体験学習を通じ地元産業に関心を高めるとともに、ふるさとへの誇りや愛着を感じられるよう計画、実践している。

笠井 一司 議員
(志政クラブ)



問 阿波市合併20年になるが、合併の目的は達成されたか。市としての一体感は何を得られているか。

答 行政運営の効率化、合理化を進めるために新庁舎の整備・行政組織の集約化・職員定数削減に取り組んだ。またケーブルテレビ施設の整備や、交流防災拠点施設整備により、一体感の醸成を図ってきた。さらには阿波市まちづくりミーティングを開催し、市民からの意見・提案を市政運営に活かしており一定程度一体感は何を得られているものと認識している。

問 九頭字谷川と熊谷川の改修はどのように進んでいるのか。

答 九頭字谷川については、令和4年から6年にかけて東池田橋から県道土成徳島線までの一部区間について護岸改修工事が行われ、熊谷川については旧県道鳴門池田線までの護岸改修工事が完了し、鳴門池田線の橋梁までの改修に向けて計画が進んでいる。

問 GIGAスクール構想の目的とこれまでの取り組みの成果は。

答 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、児童生徒の情報活用能力を育成することを目的に、令和3年度から一人一台のタブレット端末を導入している。子どもたちは、タブレット端末を日常

問 九頭字谷川については、令和4年から6年にかけて東池田橋から県道土成徳島線までの一部区間について護岸改修工事が行われ、熊谷川については旧県道鳴門池田線までの護岸改修工事が完了し、鳴門池田線の橋梁までの改修に向けて計画が進んでいる。

問 GIGAスクール構想の目的とこれまでの取り組みの成果は。

答 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、児童生徒の情報活用能力を育成することを目的に、令和3年度から一人一台のタブレット端末を導入している。子どもたちは、タブレット端末を日常

令和7年第2回阿波市議会定例会 議案番号及び議決結果一覧表 (6月2日～6月25日)

議案番号	議案名	議決結果
議案第39号	令和7年度阿波市一般会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第40号	令和7年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第41号	阿波市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第42号	阿波市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第43号	吉野地域福祉センター設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第44号	阿波市重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第45号	阿波市国土利用計画審議会条例の一部改正について	原案可決
議案第46号	訴えの提起について	原案可決
議案第47号	徳島県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決
議案第48号	中央広域環境施設組合からの吉野川市の脱退に伴う財産処分について	承認
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度阿波市一般会計補正予算(第12号)について)	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について)	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度阿波市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について)	承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度阿波市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について)	承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第4号)について)	承認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて(阿波市税条例の一部改正について)	承認
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて(阿波市国民健康保険税条例の一部改正について)	承認
報告第2号	令和6年度阿波市一般会計繰越明細費繰越計算書について	—
報告第3号	令和6年度阿波市水道事業会計予算繰越計算書について	—
報告第4号	令和6年度阿波市農業集落排水事業会計予算繰越計算書について	—
議案第49号	動産の取得について(学習者用ソフトウェア)	原案可決
議案第50号	令和7年度阿波市一般会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第51号	監査委員の選任について	同意
議案第52号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第53号	公平委員会委員の選任について	同意
議案第54号	固定資産評価委員の選任について	同意
—	選挙管理委員会委員の選挙について	選挙
—	選挙管理委員会委員補充員の選挙について	選挙

令和7年第1回阿波市議会臨時会 議案番号及び議決結果一覧表 (7月22日)

議案番号	議案名	議決結果
議案第55号	令和7年度阿波市一般会計補正予算(第4号)について	原案可決

起立採決結果

議案第55号		議決結果	
令和7年度阿波市一般会計補正予算(第4号)について			
原田 定信	○	賛成	16
木村 松雄	○	賛成	16
松村 幸治	○	賛成	16
榎原 伸	○	賛成	16
笠井 一司	○	賛成	16
武澤 豪	○	賛成	16
原田 健資	○	賛成	16
竹内 政幸	○	賛成	16
笠井 安之	—	反対	3
藤本 功男	○	賛成	16
坂東 重夫	○	賛成	16
後藤 修	○	賛成	16
三浦 三一	○	賛成	16
阿部 雅志	○	賛成	16
吉田 稔	○	賛成	16
中野 厚志	×	欠席	—
北野 正弘	○	賛成	16
野口加代子	×	欠席	—
黒川 理佳	×	欠席	—

○：賛成 ×：反対 欠：欠席
※笠井安之議員は議長のため採決に加わりません。

議会だより 編集雑感

議会の様子や各議員の意見を、少しでもわかりやすく伝える紙面ではあります。限られた紙面ではありませぬが、市民の皆さまにとって「阿波市」のことがよく分かったらと、感じたいだけよう努めてまいりました。

議員として日々活動するなかで、市民の声にはっとさせられることが多くあり、時に驚き、時に励まされることもしばしばです。議会の場で発言する一言一語の重みを、皆さまの声を通して改めて感じています。(榎原浩二)